

2020年3月30日

報道関係各位

三菱地所株式会社

「丸の内ビル」及び「大手門タワー・JXビル」 再生可能エネルギー由来の電力の活用に向け、JXTG エネルギーと電気供給契約締結

三菱地所株式会社は、2020年4月1日（水）より、当社が運営管理する「丸の内ビル」及び「大手門タワー・JXビル」の一部^{※1}で再生可能エネルギー由来の電力の供給を受けるため、本日2020年3月30日（月）にJXTG エネルギー株式会社と電気供給契約を締結しましたのでお知らせします。

今回供給を受ける予定の電力は、川崎バイオマス発電株式会社が発電する木質バイオマス由来で、CO₂排出係数0の電力として、国内制度（省エネ法）に加え、SBT^{※2}やRE100^{※3}といった国際的な基準にも対応したクリーンな電力です。

当社は今回の取り組みにより、「丸の内ビル」及び「大手門タワー・JXビル」の2棟合計で約10,000t/年のCO₂削減を見込んでいます。

※1 使用電力の内、丸の内ビルは約60%、大手門タワー・JXビルは約40%。

※2 世界の気温上昇を抑えるため、企業に対して科学的な知見と整合した削減目標を設定するよう求める環境イニシアチブ。

※3 事業活動で生じる環境負荷を低減させるため、事業運営に必要なエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄うことを目標とする環境イニシアチブ。

今回の再生可能エネルギー由来の電力の活用は、長期経営計画2030で掲げた「三菱地所グループのSDGs（Sustainable Development Goals）2030」の重要テーマの一つである

「Environment：気候変動や環境課題に積極的に取り組む持続可能なまちづくり」の実現、ならびにSBT（2019年4月認定）・RE100（2020年1月31日加盟済）を達成するための取り組みで、当社グループとして、サステナブルな社会の実現に向けて、時代が抱える社会課題への解決策を提供する試みと位置付けています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲今回の取り組みに関連するSDGs目標



▲丸の内ビル



▲大手門タワー・JXビル

■丸の内ビルディング

所 在 東京都千代田区丸の内二丁目 4 番 1 号
延床面積 159,907 m²
階 数 地上 37 階 地下 4 階 塔屋 2 階
竣 工 2002 年 8 月

■大手門タワー・JX ビル

所 在 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 2 号
延床面積 107,770 m²
階 数 地上 22 階 地下 5 階 塔屋 2 階
竣 工 2015 年 11 月

■川崎バイオマス発電所

事 業 者 川崎バイオマス発電株式会社
所 在 神奈川県川崎市川崎区扇町 12 番 6 号
電源種別 木質バイオマス発電
出 力 33,000kW
稼働開始 2011 年 2 月

以 上

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ[※]」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/i/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf